

第4期千葉県ホームページ管理システム(CMS)導入・維持管理業務委託総合評価一般競争入札に係る質問回答

【業務提案に関する質問事項】

資料名 ページ番号	項目	質問	回答
要求水準書 p.13	第3章 CMSに関するシステム化要件 3.システム要件 (1)システム構成 オ	「本システムは千葉県自治体情報セキュリティクラウドを経由したアクセスとなっており、本調達においては、IDS/IPS、改ざん検知、WAFIによるDDOS対策等は考慮不要とする。」となっているが、「別紙2 CMSの導入後の機器構成イメージ」には記載がなく、FWの位置にあると認識してよいか。 また、CDNなどの高アクセス対策は実施されているか。	本県も他自治体とインターネット接続形態は変わらず、入口出口対策として実装されている。別紙2では省略しているが、インターネットとFW間に実装されているとお見込みいただきたい。 また、国が示す標準要件を基とした実装のため、現在CDNなどの高アクセス対策は実施されているが、本件契約期間中に次期自治体情報セキュリティクラウドへの切り替えが想定され、その際に標準要件の変更の可能性もあることご承知おきいただきたい。
要求水準書 p.2 要求水準書 p.4	第1章 業務概要 5.業務委託の範囲 5-1 CMS (1)CMS導入(令和7~8年度) イ データの移行 第1章 業務概要 3.対象サイト (2)規模	「現行CMSからのデータ移行(約5万ページ)」とあるが、別の項目(12ページ)では「令和12年度末の規模はHTML約3万ページを想定する。」ともあり、移行は約5万ページ移行して、運用期間中に減らしていくという事か。 リニューアル時に削除する提案も可能か。	「現行CMSからのデータ移行(約5万ページ)」とは、あくまで現状を記載したものである。「令和12年度末の規模はHTML約3万ページを想定する。」とは、「必要な情報」のみを移行し、適正な「ウェブコンテンツのライフサイクル管理」運用が相成った末の伸び率等を鑑み推計したものである。 p2「2.目的」にも記載のとおり、古い情報など、情報資産価値の乏しいコンテンツが多数あることが課題であり、専門的知見により「都道府県の最適なページ数」とリニューアルに伴う削除方策を提案の上で移行計画を立案すること。 なお、移行が不要なコンテンツの削除対応は、早ければ早い方が望ましいと考える。
要求水準書 p.22	第3章 CMSに関するシステム化要件 9.データ移行 (2)移行作業	「ア 移行作業に必要なコンテンツデータは、委託者が媒体で提供する。」とあるが、コンテンツデータの提供回数に制限はあるか。制限がある場合、提供可能回数をご教示いただきたい。	厳しい制限を設けることなく、必要とする回数の提供を行うことを想定しているが、システム環境への負荷等も鑑み適正な回数となる移行計画を策定すること。
要求水準書 p.4	第1章 業務概要 5.業務委託の範囲 5-1 CMS (1)CMS導入(令和7~8年度) ウ 職員研修	「eラーニングによる研修環境の整備(ライセンスの取得)」について、ライセンスの取得とは何かサーバソフトウェアを導入することを想定しているか。 また、職員様が閲覧する環境(ソフトウェア)は何を想定しているか。	お見込みのとおり、サーバソフトウェア(必要な場合)の導入を想定している。 職員は、「第3章 CMSに関するシステム化要件 3.システム要件(3)配付パソコン」を用いて、アドイン、ソフトウェアの導入なく、ブラウザ等により閲覧することとする。

要求水準書 p.4	第1章 業務概要 5.業務委託の範囲 5-1 CMS (1)CMS導入(令和7~8年度) ウ 職員研修	eラーニング用のコンテンツは、業者のみ作成という認識でよろしいか。	お見込みのとおり。 「第3章 CMSに関するシステム化要件 10.職員研修等(3)e-ラーニングによる研修」を想定している。
要求水準書 p.23	第3章 CMSに関するシステム化要件 10.職員研修等	研修テキストについて、電子データ(編集可能な形式)を委託者へ提供するとともに、研修テキスト編集(修正)について支援を行うこと。とあるが、印刷の実施は必要か。	受託者による印刷の実施は不要である。
要求水準書 p.5	第1章 業務概要 5.業務委託の範囲 5-2検索システム(サービス)	検索システム(サービス)の要件についてだが、近年は「and検索、or検索、not検索」等による検索ではなく文章による検索やAIを活用した検索が多くなってきていると思うが、全てのシステム要件に対応できなくサービスでもそのような検索システムを提案してもよいか。 例:検索対象ディレクトリの指定にワイルドカードが使用できること。 いわゆるand検索、or検索、not検索による検索が可能であること。など	主たるサイト内検索は、「プログラム可能な検索エンジン」等を想定しているが、目的や内容に応じて複数のシステム(サービス)を組み合わせることを可としているため、目的を充足し必要な情報に辿り着き易くする仕組みを、理由を沿えて提案すること。(現在も有償のキーワード検索サービスと、プログラム可能な検索エンジン等を併用している。)
要求水準書 p.5	第1章 業務概要 5.業務委託の範囲 5-3動画配信システム(サービス)	動画配信について、現状千葉県様ではYoutubeも利用されていると思うが、今回の動画配信サービスとYoutubeはどのような運用方法で運用されているか。	YouTubeの「千葉県公式PRチャンネル」は、本県の魅力発信に関する動画を掲載している。 県ホームページは、動画配信システム(サービス)を利用し、「ちばコレchannel」を運用している。「ちばコレchannel」では、YouTube動画のほかにも、YouTubeに掲載できない動画も多数存在している。 将来、YouTubeの仕様変更等により、県公式としてYouTubeが利用できなくなる可能性も考慮し、第4期も引き続き、YouTubeと動画配信システム(サービス)を併用していくことを想定している。
要求水準書 p.21	第3章 CMSに関するシステム化要件 8.デザイン	「企業局のおいしい水づくりオフィシャルサイト、県立5病院など、独自デザインを採用しているもの(サイト内サイト)については、可能な限り現行のデザインを踏襲すること。」とあるが、現状管理されているサブサイトは、上記のみか。 上記は、現行デザインを踏襲とのことだが、デザインリニューアルを想定しているサブサイトはあるか。 新CMSに移設対象となるサブサイトの一覧をご教示いただくことは可能か。	左記以外のデザインも存在する。現在公開中のサブサイトはホームページから確認することが可能である。 なお、移行にあたっては、一貫したナビゲーション、一貫した識別性への課題があると考える。可能な限り早期に、デザインに関する専門的知見を基にしたコンサルティングを行い、最適な移行方式を立案すること。 また、現在予定しているデザインリニューアルの一例として、「チーバくんの広場」に關し「キャラクターのトリミングや、背景や他のイラストとの不適切な組み合わせを解消」すること等を検討している。 新CMSに移行対象となるサブサイトに關する今後の予定や廃止等の詳細は、「入札説明書 5 関係資料の閲覧」に準じ、予約の上で来庁すること。閲覧期間は、 <u>12月3日まで</u> とする。

要求水準書 p.27	第5章 動画配信システム(サービス)に関するシステム化要件 2.システム要件 エ システム開発(ア)	「(ア)動画再生画面には、映像と同期するキャプションを表示すること。また、キャプションの入力が効率的に行えるものであること。」 とあるが、キャプションとは字幕のことか。またキャプションは動画配信システムで登録した動画に対して入力していくイメージか。 それとも、動画作成ソフトで入力することでも良いか。	お見込みのとおり。 広義の字幕ととらえて差し支えないが、動画の公開にあたってもアクセシビリティ対応は重要と考えているため、現在の「ちばコレchannel」掲載動画から見てとれるとおり、キャプションが存在しない動画には、「動画の内容」欄へ”状況の説明”や、”擬音”等の付加を入力可能なテンプレートとしている。 なお、動画オーナーは各所属であるため、動画作成ソフトによる入力は想定していないが、先進的技術やより良い実装があれば提案すること。
要求水準書 p.27	第5章 動画配信システム(サービス)に関するシステム化要件 2.システム要件 エシステム開発(イ)	現行のデータの移行についてだが、現状のデータは何形式か。場合により、元データなどを頂くことも可能か。	現行のデータ(取り出し可能なものはmp4形式である。プロジェクト進行にあたり必要なデータは提供可能である。
要求水準書 p.6	第1章 業務概要 5.業務委託の範囲 5-4ミラーサーバ(サービス)	「システム(サービス)が稼働する運用施設、ハードウェア、OS及びネットワークインフラなどは、受託者が調達する。(県庁～運用施設間の回線は委託者が調達する。)」とあるが、ミラーサーバへの同期は、通常のインターネット回線ではなく、別途専用の回線を用意するという事か。 また、動画も同様の記述があるが、同じ回線を使用してもよいか。	「第6章 ミラーサーバに関するシステム化要件 1.システム化の内容」の図のとおりインターネットVPN(閉域網とまで想定せず)を想定し、回線を委託者が調達、通信機器等(必要なセキュリティ対策機器を含む)を受託者が設置する構想だが、「千葉県情報セキュリティ対策基準のほか、個人情報保護に係る法令・規則など」も鑑み、通信の内容を基に適正と考えられる構成を提案すること。 現在、動画のアップロードにあたっては報道広報課内にも別途通常のインターネット回線があり、大容量の通信を実現している。共用を検討する場合は、送信元・先と用いるデータの種別を基に判断すること。
要求水準書 p.30	第6章 ミラーサーバに関するシステム化要件 3.システム要件 (1)ミラーリングシステム	「ア rsync over SSHにより1時間に1回以上千葉県ホームページのミラーリングを行えること。(ミラーリング対象サーバは、公開サーバではない。実際のミラーリングのタイミングは、協議のうえ決定する。)」とあり、公開サーバではないとのことだが、どのデータをミラーリングサーバに同期するのか。	「第3章 CMSに関するシステム化要件 3.システム要件(2)サーバ等」のSTG:ステージングサーバを想定している。(左記のとおり、WWW1,2:公開用WWWサーバ(二重化)からではないことを指す。)
要求水準書 p.39	第10章 運用・保守要件 2.運用業務要件 (9)ハードウェア・ソフトウェア保守 ア 定期保守対応	定期保守スケジュールを調整とあるが、どの程度の間隔を想定しているか。	年次を想定しているが、設置機器や利用サービスに応じた周期を計画すること。
要求水準書 p.43	第10章 運用・保守要件 4.維持管理業務要件 (8)特別障害対応 ア 大規模障害対応	「訓練を年に1回以上実施すること」と記載があるが、どのような訓練内容を想定しているか。大規模災害対応として行う訓練は、関係業者を含めた情報伝達のフローの訓練を想定しているか。県民などにも防災訓練メールなどの周知を行い、県民を巻き込んだ県全体での訓練を想定しているか。	県民等を含まない、関係者のみによる手順の読み合わせ等の机上訓練を想定している。

要求水準書 p.32	第10章 運用・保守要件	運用業務用に定期的なアクセスログ解析などの記載はないが、千葉県様で実施する想定か。また、解析ソフトは何を使用しているか。	情報システム課から提供される基盤のアクセスログ解析は委託者で実施する。それ以外の一般的な運用確認等は定期的に受託者が実施すること。不正アクセス等の発生時等には、委託者の支援を実施すること。解析には、情報システム課が提供する「Matomo」を使用するが、より良い方式や仕組みがあれば提案すること。
要求水準書 CMS機能要件	CMS機能要件	CMS機能要件の機能のうち、CMSでパッケージ搭載していない機能についてはカスタマイズとなるが、本提案の提出物において標準機能、カスタマイズ機能を一覧で示す必要はあるか。示す必要がある場合は、表などへの記入方法や、点数などの評価指標をお示しいただきたい。また、カスタマイズ機能となる項目には備考欄などに費用も記入する必要があるかもご教示いただきたい。	一般的なCMSや、カスタマイズで実現可能な機能を要求しているため、必ずしも一覧の提出は必要ない。優れた実装は、加点の対象となるため、業務提案審査項目の対象がわかるかたちで、効果を添えて提案書へ記入すること。カスタマイズ項目毎の費用は、「【別紙】2 費用見積書(CMSに関するシステム化要件)」へ内容がわかるかたちで記入すること。
要求水準書 CMS機能要件 p.6	3 コンテンツ運用管理 3.1 ページ生成 3.1.2 トップページ (1)トップページの運用	千葉県防災ポータルサイト、大気情報システムとの連携機能の開発後、本番リリース前に連携試験を行う際に、千葉県防災ポータルサイト、大気情報システムのステージング環境などを保守事業者にて用意いただき緊急情報のテスト表示をしていただくことは可能か。またその際の保守事業者の作業費用は本事業費用には含まない認識でよいか。	インターネットから接続可能な検証環境はないため、htmlソース等の提供を受けた上で、本件で構築するWebサーバのエイリアス機能等の一時使用などによるテストの実施を計画すること。
要求水準書 CMS機能要件 p.10	4 情報発信 4.1 パソコン向け(兼スマートフォン等向け) 4.1.5 UDフォント	「視認性の良いUDフォントを使用すること。」とあるが、ユニバーサルデザインフォントに限定されるか。費用対効果を考慮し、有償のユニバーサルデザインフォントを採用するか、デジタル庁等で使用している無償のフォントを採用することも検討している。視認性を考慮できれば良いか、ユニバーサルデザインフォントの指定となるかご教示いただきたい。	現在のホームページは、高齢の方や障害のある方、外国人の方など全ての方に向けた対応として、UDフォントを採用している。費用対効果のみを重視し「オープンソース書体」を採用するのではなく、要求水準全体を鑑みた上で提案すること。「オープンソース書体」で導入可能なものの中には、識字障害への対応が不足しているという意見を持っているが、デザイン性含め専門的知見に基づき、理由を添えて採用すること。)
業務提案書作成要領 p.2	2業務提案書の作成 (3) 才	「才 業務提案書は、紙媒体で2部(原本1部、複写1部)提出すること。」とあるが、原本と複写の違いはあるか。原本と複写のどちらとも、表紙を含めて会社名、ロゴマーク等、提案者の名称を識別又は推定できる文言等を記載しないことでよいか。	業務提案書2部の目的として、原本は提案事業者からの提出書類として受領し、複写については、総合評価委員会の各委員宛てに共有し、審査で用いることを目的としている。また、お見込みのとおり業務提案書の原本と複写は、いずれも提案者が識別できる情報は一切記載しないようにすること。

業務提案書作成要領 p.2	2業務提案書の作成 (3) 力	「力 原則として、落札者決定基準別紙1基礎審査表に示す各項目に沿って業務提案書を作成すること。また、別紙1基礎審査表、別紙2業務提案審査表に示す各項目に対する業務提案書での記載場所が分かるように、様式1業務提案書記載項目対応表に記載項目番、記載ページを記載し提出すること。」とあるが、別紙2業務提案審査表に記載がある内容で、別紙1基礎審査表にない項目は適宜追加してもよいか。	業務提案書に記載されている箇所を示すうえで、内容を補足する場合は、赤字にて該当項目を記載すること。
業務提案書記載項目対応表	提案書に記載した位置	別紙1、別紙2ともに「提案書に記載した位置」として●ページ●行目から●ページ●行目までとある。 提案書はPowerPointでの作成を想定しており、行を示すことが難しい。その場合、●ページ上段、●ページ右側下段などの記載でもよいか。	提案書として行数を示すことが困難な場合は、提案内容の当該位置を示すことができれば記載方法は問わない。
業務提案書作成要領 p.3	4プレゼンテーション・ヒアリングの実施 (6)その他留意事項 ウ	「ウ すでに提出している業務提案書等、またはその要約を行った資料を用いて説明すること。その他の追加資料の提示は認めない。」とあるが、提案書に記載したデザインをコーディングしてウェブページとして説明することは可能か。また、CMS機能については、デモ画面を用いてご説明することは可能か。	提案書の説明方法としてコーディングしたウェブページを用いても差し支えない。 また、デモ画面を用いたプレゼンテーションについても、準備等も含め、制限時間以内であれば差し支えない。
業務提案書作成要領 p.3	3業務提案書の記載項目等 (3)	「様式2見積書の様式に従い、本サービスに係る見積書を作成し、提案書と合わせて提出すること。」とあるが、紙媒体で提出する場合、業務提案書と同じに綴じず、別でクリアファイルに入れて提出してもよいか。 また、様式1業務提案書記載項目対応表は、業務提案書と同じに綴じて提出してよいか。	見積書と業務提案書は綴じる必要はなく、クリアファイルに入れた提出で差し支えない。 業務提案書記載項目対応表については、業務提案書と一緒に綴じて提出すること。
入札説明書 p.4	6入札提出書類の提出期間及び場所等 (3)提出書類	入札提出書類は、上記④(業務提案書)のPDF形式による電子データ(CD-R等)2部とあるが、業務提案書と様式1業務提案書記載項目対応表も合わせての提出となるか。	お見込みのとおり。 電子データは、業務提案書と様式1業務提案書記載項目対応表も併せて提出すること。
入札説明書 p.4	6入札提出書類の提出期間及び場所等 (3)提出書類	入札提出書類は、上記④(業務提案書)のPDF形式による電子データ(CD-R等)2部とあるが、様式2-見積書(年度別明細)は電子データでの提出はなく、紙媒体のみの提出でよいか。	見積書についても、業務提案書の一部として捉えており、紙媒体と電子データの両方を提出すること。